

令和2年度第4回全国健康保険協会秋田支部評議会議事録

開催日時：令和3年1月14日（木）10：30～12：00

開催場所：アキタパークホテル 2階 ゴールデン

出席者：松淵評議員（議長）、金子評議員、佐々木（宏）評議員、佐野評議員、
佐々木（卓）評議員、舘岡評議員、栗盛評議員、近藤評議員（代表別・50音順）
加藤支部長、山本部長、河上部長、佐藤グループ長、二田グループ長、
安田グループ長、沼倉主任、高橋主任、澤口スタッフ（記）

議事録署名人：近藤評議員、佐野評議員（50音順）

■ 議事事項

1. 令和3年度秋田支部保険料率について

■ 質疑応答、意見交換等

【事業主代表】

保険料率について異論はない。ただ、新型コロナウイルスの影響を受けている業種や企業の保険料負担については国庫補助で賄う等の期間限定の措置があっても良いのではないかと。

【被保険者代表】

新型コロナウイルスへの対応において政府が巨額の予算を投入しているように、協会としても企業への支援が必要なのではないかと。

【事業主代表】

保険料率を抑えるためには、保険給付費を抑制するよう県民全体でいかに取り組むかが重要であると考え。行政や他保険者以外でいえば、生命保険会社の中で協会けんぽと同様の取り組みをしている企業もある。秋田支部に限らず、協会本部が連携していってほしい。

【事務局】

秋田支部では、アクサ生命と協定を結び主に健康経営について連携している。他支部では、アクサ生命に限らず他の生命保険会社と協定を結んでいる事例も出てきている。また、ご指摘の通り本部で一律に協定を結ぶことになればさらに取り組みが活発になると思われる。

【被保険者代表】

保険料率が引き下がることは良いことではあるが、事務局の保険料算定に係る説明を聞くと秋田支部の医療費は依然として高く、素直に喜べない状況であると感じた。

【学識経験者】

標準報酬月額全国平均はいくらか。

【事務局】

全国では30万円となっており、秋田支部平均24万円とは大きく開いている。

【事業主代表】

協会けんぽの医療分収支見込において、令和 3 年度の保険給付費が前年度より増加する見込みとなっているが、医療・医薬業界の売上げが前年よりも 10%以上減少していることや、直近の医療費の動向からすると減少するのではないかと考える。

■ 議事事項

2. 令和 3 年度秋田支部事業計画及び保険者機能強化予算（案）について

■ 質疑応答、意見交換等

【事業主代表】

事務作業を効率化するという観点では、申請のオンライン化やレセプト点検への AI の導入、複数年契約によるコスト削減等が考えられる。こういった点についても検討いただきながら、引き続き取り組んでいただきたい。

【学識経験者】

秋田支部の健診に係る KPI は全国と比較してどの位置にあるのか。

【事務局】

協会全体の KPI は、生活習慣病予防健診受診率が 58.5%に対し秋田支部は 51.3%、事業者健診データ取得率が 8.5%に対し秋田支部は 17.4%、被扶養者の特定健診受診率が 31.3%に対し秋田支部は 33.4%となっている。

【学識経験者】

特定保健指導の課題として、保健師のマンパワー不足を挙げていたが、栄養士会会員の管理栄養士や薬局を活用するなど課題解決に努めていただきたい。

新型コロナウイルスの影響もあり目標と実績が大きく乖離している項目も出てくるのではないと思うが、来年度も同様に影響を受けた場合、KPI の設定方法に影響はあるか。

【事務局】

現時点で秋田支部では影響を最小限に抑えられているが、感染者が多い地域においては大きな影響が出ていると聞いている。新型コロナウイルスの影響が引き続きあった場合の KPI の設定方法等については、本部においても議論段階にあり、詳細がわかれば評議会の場でお示ししたい。

【学識経験者】

健康経営宣言事業所へのフォローはどのように行っているか。

【事務局】

宣言いただいてから 3 か月、半年、1 年後にアンケートを実施している。事業所ごとの課題を聞き出し、個別にフォローが出来るよう体制を整えている。

【学識経験者】

協会全体の健康経営事業所数を 57,000 とする目標は少ないのではないかと考える。全国の事業所数を勘案するとさらに多くてもよいのではないか。

【事業主代表】

今回の事業計画は、第5期保険者機能強化アクションプランに沿ったものであると承知しているが、3年後の目標値を達成できるような設定となっているか。

【事務局】

第5期保険者機能強化アクションプランに沿い3年後に達成できるよう単年度のKPIを設定している。

【事業主代表】

行政のデジタル化との兼ね合いもあると思うが、各事業所にとっては申請・健診データの取得がオンラインでできれば事務効率向上につながる。準備金等を活用するなどシステム構築を検討いただきたい。

新型コロナウイルスにより、リモート・オンラインが事業所、個人に浸透してきている。特定保健指導であれば、保健師の移動時間がなくなり一人当たりが実施できる件数が増加することで、マンパワー不足解消につながるのではないか。また、加入者の側面では、場所や時間を柔軟に対応できるため実施率向上が見込めるのではないか。

未治療者への受診勧奨についてはLINE等のSNSを活用したプッシュ型の広報が必要ではないかと考える。

【事業主代表】

新型コロナウイルスのワクチン接種については、協会として費用の負担はあるか。

また、医療費への影響は出ているか。

【事務局】

現時点では、ワクチン接種による費用負担はないと承知している。

秋田支部の医療費への影響は、昨年緊急事態宣言以降、受診抑制が働き、医療費は平年よりも低い水準となった。緊急事態宣言が明けてからは、平年並みの数値に戻ってきている。

【被保険者代表】

新規事業として、「位置情報を活用したジオターゲティング広告によるジェネリック医薬品の広報」が追加されているが、どのような広報となるのか。これまで活用している希望シールのように、加入者がジェネリック医薬品への切り替えを容易に出来るような広報をしていただきたい。

【事務局】

位置情報を利用し、医療機関や薬局をよく訪れる方を対象としてWEB広告を実施する予定。広報内容については、評議員の皆さまのご意見をいただきながら実施していきたい。

【被保険者代表】

被扶養者資格状況リストの回収率が100%に達しないことに驚きを覚える。継続して提出がない事業所から回収することは難しいことであると思うが、回収率を引き上げられるよう引き続き取り組んでいただきたい。

■次回評議会の開催 令和3年5月開催予定